



平成24年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年9月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トップカルチャー

コード番号 7640 URL <http://www.topculture.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水 秀雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 遠海 武則

TEL 025-232-0008

四半期報告書提出予定日 平成24年9月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年10月期第3四半期の連結業績(平成23年11月1日～平成24年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年10月期第3四半期	25,019	△1.0	568	△37.1	480	△44.3	61	△84.2
23年10月期第3四半期	25,282	△1.2	904	67.9	863	49.6	389	59.9

(注) 包括利益 24年10月期第3四半期 67百万円 (△82.4%) 23年10月期第3四半期 384百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年10月期第3四半期	5.13	5.11
23年10月期第3四半期	32.45	32.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年10月期第3四半期	24,132	7,494	30.8	619.13
23年10月期	22,912	7,607	32.9	628.89

(参考) 自己資本 24年10月期第3四半期 7,429百万円 23年10月期 7,546百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年10月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年10月期	—	7.50	—	—	—
24年10月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年10月期の連結業績予想(平成23年11月1日～平成24年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	3.9	1,110	2.0	1,020	0.7	340	△25.7	28.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年10月期3Q	12,688,000 株	23年10月期	12,688,000 株
② 期末自己株式数	24年10月期3Q	688,445 株	23年10月期	688,315 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年10月期3Q	11,999,644 株	23年10月期3Q	11,998,187 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 追加情報	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におきましては、東日本大震災の影響による停滞から一部で持ち直しの動きが見られたものの、電力供給問題や円高の長期化、海外経済の先行きへの懸念など依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような経済状況の中、当社グループは、店舗運営力の強化および接客・サービスレベルの向上に取り組むとともに、「日常的エンターテイメント」をコンセプトに新しい発見や感動を味わうことができる魅力ある店舗を目指し、ライフスタイルを意識した提案性の高い売場づくりに注力してまいりました。また、日本最大級となる売場面積2,300坪の超大型複合書店を1店舗出店し、更なる店舗価値の向上に取り組んでまいりました。今後も2,000坪クラスの超大型複合店舗を積極的に出店し、地域のコミュニティ空間としての役割を担ってまいります。

このような状況において、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高25,019百万円（前年同期比99.0%）、営業利益568百万円（前年同期比62.9%）、経常利益480百万円（前年同期比55.7%）、四半期純利益61百万円（前年同期比15.8%）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間末のグループ合計店舗数は75店舗（前年同四半期末は73店舗）となりました。

売上・利益の増減要因

売上面につきましては、超大型店舗を1店舗出店し、店舗数が前年同四半期末に比べ2店舗増加しましたが、当社グループの軸である蔦屋書店事業において、主力商品であるレンタルの映像部門の価格改定による値下げの影響により、既存店売上高前年同期比が94.5%となったことにより減少いたしました。

利益面につきましては、仕入原価の見直し、店舗運営の見直しに取り組んだ結果、売上総利益については前年同期比99.0%、売上総利益率は前年同様の31.9%となりました。また、超大型新店の出店に伴い、販売費及び一般管理費が増加し、前年同期比103.6%となりました。その結果、営業利益は前年同期比37.1%減少し568百万円、経常利益は前年同期比44.3%減少し480百万円となりました。四半期純利益につきましては、前年同四半期連結累計期間に「資産除去債務に関する会計基準等」の適用に伴う特別損失を158百万円および店舗の統合閉店に伴う特別損失5百万円を計上した一方、当四半期連結累計期間におきましては、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、収益性が低下している店舗について、今後の売上計画を精査し、回収可能性を検討した結果、固定資産に対する減損損失189百万円を特別損失として計上したことにより、四半期純利益は前年同期比84.2%減少し61百万円となりました。

セグメントの状況は、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

①蔦屋書店事業

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高24,317百万円（前年同期比99.2%）、セグメント利益は504百万円（前年同期比59.9%）となりました。

主力商品の売上高前年同期比は、書籍104.9%（既存店98.2%）、文具113.1%（既存店102.0%）、レンタル88.3%（既存店87.8%）、販売用CD 93.3%（既存店90.3%）、販売用DVD 88.3%（既存店85.3%）となりました。書籍は、売上上位商品の充足率を強化するとともに定番商品の品揃え強化によ

り売上の底上げを図ったことが奏功したことおよび超大型新店が売上に貢献いたしました。文具は、定番商品の売上が順調に推移したほか、話題商品、趣味文具、生活雑貨等のライフスタイルを提案する品揃えを強化したことおよび超大型新店が売上に貢献いたしました。レンタルは、映像部門において単価の引下げを進めたことにより、売上高は大きく減少いたしました。売上点数は既存店前年比で増加傾向となっております。販売用CD・DVDは、市場全体の縮小傾向が続いていることから、引き続き在庫の効率化と商品提案力の強化に取り組みました。

②その他

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高704百万円（前年同期比90.5%）、セグメント利益は2百万円（前年同期比2百万円増）となりました。

中古買取販売事業は、昨年6月に不採算店舗1店を閉店したことから、売上高前年同期比は87.7%となりました。既存店比較では、リサイクル商品（古本）が既存店売上高前年同期比93.8%、ゲーム新品が既存店売上高前年同期比105.9%、ゲーム中古が既存店売上高前年同期比100.1%、既存店売上高前年同期比では102.7%となりました。利益面では、不採算店舗の閉店と運営の効率化により、営業利益は前年同期比129.7%、経常利益は前年同期比133.3%となりました。

スポーツ関連事業は、広告収入、商品売上および施設利用売上が前年同期比を若干下回ったものの、主軸であるサッカークラブおよびサッカースクールの会員収入が売上高前年同期比109.1%、イベント売上が売上高前年同期比114.0%と好調に推移したことにより、売上高前年同期比は102.7%となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産につきましては、前連結会計年度末比1,219百万円増加し、24,132百万円となりました。これは主に、新規出店等に伴う商品が833百万円、不動産の取得に伴う建設仮勘定が1,050百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比1,331百万円増加し、16,637百万円となりました。これは主に、短期借入金600百万円、長期借入金387百万円およびリース債務が476百万円、それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比112百万円減少し、7,494百万円となりました。これは主に、利益剰余金が118百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

蔦屋書店事業におきましては、レンタルの低価格戦略により来店客数が増加しており、更なる品揃え強化・MIX売場等の展開により、複合店舗としての相乗効果を創出してまいります。また、仕入コストの削減、運営の効率化、販管費の適正化を推進してまいります。

これにより、通期業績予想につきましては、平成24年6月1日に公表しましたとおり、売上高34,700百万円（前年同期比3.9%増）、営業利益1,110百万円（前年同期比2.0%増）、経常利益1,020百万円（前年同期比0.7%増）、当期純利益340百万円（前年同期比25.7%減）を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,095,809	740,399
売掛金	246,442	175,851
商品	7,260,792	8,094,759
前払費用	261,624	299,695
繰延税金資産	100,973	39,583
未収入金	320,462	308,084
その他	83,176	74,130
貸倒引当金	△322	△238
流動資産合計	9,368,959	9,732,266
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,080,088	2,878,756
リース資産(純額)	2,998,020	3,322,069
建設仮勘定	—	1,050,000
その他(純額)	657,530	638,937
有形固定資産合計	6,735,639	7,889,763
無形固定資産		
のれん	215,545	158,590
その他	52,447	51,668
無形固定資産合計	267,993	210,259
投資その他の資産		
繰延税金資産	155,984	209,862
敷金及び保証金	4,073,319	3,891,413
その他	2,312,443	2,200,205
貸倒引当金	△1,420	△1,420
投資その他の資産合計	6,540,328	6,300,060
固定資産合計	13,543,961	14,400,083
資産合計	22,912,921	24,132,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,011,649	3,192,977
短期借入金	1,645,040	2,245,040
1年内返済予定の長期借入金	1,139,402	1,173,965
リース債務	468,314	499,180
未払法人税等	363,729	42,339
賞与引当金	93,000	22,000
未払金	423,822	423,114
その他	1,183,791	1,265,330
流動負債合計	8,328,749	8,863,948
固定負債		
長期借入金	3,251,556	3,639,409
リース債務	2,587,912	3,033,905
資産除去債務	415,191	427,808
持分法適用に伴う負債	—	20,087
退職給付引当金	122,260	106,090
役員退職慰労引当金	68,278	68,278
長期未払金	377,772	337,999
長期預り敷金保証金	154,180	140,292
固定負債合計	6,977,151	7,773,870
負債合計	15,305,900	16,637,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,007,370	2,007,370
資本剰余金	2,303,718	2,303,718
利益剰余金	3,557,912	3,439,449
自己株式	△307,960	△308,004
株主資本合計	7,561,041	7,442,533
その他の包括利益累計額		
その他の有価証券評価差額金	△14,602	△13,207
その他の包括利益累計額合計	△14,602	△13,207
新株予約権	36,230	36,148
少数株主持分	24,351	29,056
純資産合計	7,607,020	7,494,530
負債純資産合計	22,912,921	24,132,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
売上高	25,282,756	25,019,326
売上原価	17,227,972	17,042,653
売上総利益	8,054,784	7,976,672
販売費及び一般管理費	7,150,451	7,408,033
営業利益	904,333	568,639
営業外収益		
受取利息	26,590	24,598
その他	45,187	35,602
営業外収益合計	71,778	60,201
営業外費用		
支払利息	112,851	118,171
持分法による投資損失	—	30,158
営業外費用合計	112,851	148,329
経常利益	863,259	480,510
特別利益		
投資有価証券売却益	28,795	—
特別利益合計	28,795	—
特別損失		
減損損失	5,283	189,961
固定資産処分損	1,633	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	158,479	—
特別損失合計	165,397	189,961
税金等調整前四半期純利益	726,657	290,549
法人税、住民税及び事業税	386,712	219,419
法人税等調整額	△53,244	4,894
法人税等合計	333,468	224,313
少数株主損益調整前四半期純利益	393,189	66,235
少数株主利益	3,819	4,704
四半期純利益	389,369	61,531

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	393,189	66,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,607	1,395
その他の包括利益合計	△8,607	1,395
四半期包括利益	384,581	67,631
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380,761	62,926
少数株主に係る四半期包括利益	3,819	4,704

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)	
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	
(法人税率の変更等による影響)	
「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、当社グループでは平成24年11月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.4%から、平成25年10月期から平成27年10月期までに解消が見込まれる一時差異については37.7%に、これ以降に解消が見込まれる一時差異については35.3%に、それぞれ変更されます。この税率の変更により、繰延税金資産が33,917千円減少し、法人税等調整額が32,894千円、その他有価証券評価差額が1,022千円それぞれ増加しております。	

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,507,569	775,187	25,282,756	—	25,282,756
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,799	3,799	△3,799	—
計	24,507,569	778,987	25,286,556	△3,799	25,282,756
セグメント利益又は損失(△)	843,101	△13	843,088	61,245	904,333

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

蔦屋書店事業セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は5,283千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	蔦屋書店事業				
売上高					
外部顧客への売上高	24,317,069	702,256	25,019,326	—	25,019,326
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,531	2,531	△2,531	—
計	24,317,069	704,788	25,021,858	△2,531	25,019,326
セグメント利益	504,776	2,618	507,394	61,245	568,639

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古買取販売事業及びスポーツ関連事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

蔦屋書店事業セグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を減損損失(189,961千円)として特別損失に計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

商品別販売状況

セグメントの名称		当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日)		
		売上高 (千円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
蔦屋書店事業	書籍	11,028,540	44.1	104.9
	レンタル	5,142,566	20.6	88.3
	文具	2,126,252	8.5	113.1
	販売用CD	2,122,298	8.5	93.3
	販売用DVD	1,320,824	5.3	88.3
	ゲーム	941,208	3.7	105.6
	リサイクル	208,736	0.8	127.6
	その他	1,426,642	5.7	97.5
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—
	計	24,317,069	97.2	99.2
その他	外部顧客に対する売上高	702,256	2.8	90.6
	セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,531	0.0	66.6
	計	704,788	2.8	90.5
合計		25,021,858	100.0	99.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。
 3 蔦屋書店事業の「その他」は、電化製品、生テープ、図書カード、賃貸不動産収入ほかであります。